

令和7年度事業計画（案）

1 協議会の開催

事業の実施について協議（年4回程度を予定）

2 事業の実施

事業	内容
市街地循環バス （あやめバス） H18.11～運行開始	（1）市街地を循環するバスの運行〔継続〕
	（2）動態調査の実施〔継続〕 1週間の便別、停留所別の乗降状況調査を年4回（4月、7月、10月、1月）実施（新潟交通観光バス株式会社新発田営業所）
	（3）利用実態調査の実施〔継続〕 利用実態を把握するための乗降調査を実施（7月、1月）
	（4） 【重点取組】 新路線の運行〔新規〕 新発田駅の東地区（豊町・東新町）、西新発田駅の西地区（富塚町）などの新規エリアの運行を開始（6月中予定）
川東地区公共交通 H26.4～運行開始	（1）川東地区と市街地を結ぶコミュニティバスの運行〔継続〕
	（2）動態調査の実施〔継続〕 1週間の便別、停留所別の乗降状況調査を年4回（4月、7月、10月、1月）実施（新潟交通観光バス株式会社新発田営業所）
	（3）運行見直しの検討〔継続〕 地域検討組織と連携し、運行内容の見直しや改善を検討
松浦地区公共交通 R3.4～本格運行	（1）松浦地区と市街地を結ぶコミュニティワゴンの運行〔継続〕
	（2）運行見直しの検討〔継続〕 地域検討組織と連携し、運行内容の見直しや改善を検討
豊浦地域公共交通 R3.10～運行開始	（1）豊浦地域と市街地を結ぶコミュニティバス・ワゴンの運行〔継続〕
	（2）運行見直しの検討〔継続〕 地域検討組織と連携し、運行内容の見直しや改善を検討
五十公野～赤谷地区公共交通 R5.5～運行開始	（1）五十公野～赤谷地区と市街地を結ぶコミュニティバス・ワゴンの運行〔継続〕
	（2）運行見直しの検討〔継続〕 地域検討組織と連携し、運行内容の見直しや改善を検討
	（3）目標数値の設定 【新規】 運行判断の基準を明確化するため、利用者数の目標数値を設定し、地域と共有する。

加治川地域公共交通 R5.11～運行開始	(1) 加治川地域と市街地を結ぶコミュニティワゴンの運行 [継続]
	(2) 運行見直しの検討 [継続] 地域検討組織と連携し、運行内容の見直しや改善を検討
紫雲寺地域公共交通 R6.5～運行開始	(1) 紫雲寺地域と市街地を結ぶコミュニティバス・ワゴンの運行 [継続]
	(2) 運行見直しの検討 [継続] 地域検討組織と連携し、運行内容の見直しや改善を検討
佐々木地区公共交通 R7.5.20～運行開始予定	○ 【重点取組】 佐々木地区における公共交通の整備 【新規】 地域検討組織と連携し、現行「飯島線」の運行内容を見直し、佐々木地区の公共交通空白地を解消する新たな運行を開始
バス運行状況システム（バスどこ？）	(1) 新発田市内のコミュニティバスの位置情報発信 [継続] 【対象路線】 あやめバス、川東コミュニティバス、菅谷・加治コミュニティバス、まつうら号、本田・天王号、中浦・荒橋号、あかたに号、かじかわ号、しうんじ号 市ホームページのほか、専用端末（イオンモール新発田）、市公共施設内のデジタルサイネージ（新発田駅前複合施設（イクネスしばた）、市役所本庁舎（ヨリネスしばた））でバス位置情報を表示
	(2) 対象地域の拡大 【新規】 市街地循環バス新路線及び佐々木地区を運行する車両に位置情報システムを導入し、公共交通の利用しやすい環境を整備
	(3) キャッシュレス決済システムの運用 [継続] バス運行状況システムと連携したシステムを運用。システムの安定性を確保し、利用者の利便性を向上させる。
オンラン予約システム	○新発田市内のコミュニティバスのオンライン予約システム運用開始 【新規】 【対象路線】 まつうら号、本田・天王号、中浦・荒橋号、あかたに号、かじかわ号、しうんじ号
利用促進	○高齢者に向けた取組 (1) 地域の取組との連携 [継続] 地域や老人クラブ等が主催する各種教室等において、バスの乗り方等をわかりやすく説明する等の啓発活動を実施
	○学生に向けた取組 (2) 中学生向けチラシの作成、配布 [継続] 通学に利用可能な公共交通を紹介するチラシ等を作成し、市内中学３年生に配布

利用促進	○地域全体に向けた取組 （３）乗り方教室の実施〔継続〕 新発田市版デマンド方式を導入している路線を中心に地域と協力しながら乗り方教室を実施し、利用促進を図る。 （４）各種イベントと連携した PR 活動〔継続〕 イベントにおけるパネル展示や車両展示などによる PR 活動の実施 （５）コミュニティバスの利用促進〔継続〕 バスの利用を促すチラシの配布、わたしの時刻表の配布や、バス待合所、商業施設等に時刻表の設置など沿線住民に向けた取組を検討。 （６）情報発信媒体を活用したバス利用の PR〔継続〕 エフエムしばたの「新発田市ほっと station（告知番組）」に出演し、バス利用を PR（年 2 回程度）
車両更新計画	○市内外の利用者に向けた取組 （７）経路探索サイト等へのバス時刻等の情報掲載〔継続〕 市内外のバス利用者の利便性向上を図るため、GTFS データを作成し、経路探索サイト（株ナビタイムジャパン）や Google マップにコミュニティバスの情報データを掲載する。